

みなと

No. 9

理念

・地域に貢献する病院

基本方針

- ・地域に根ざしたトータル医療の提供
- ・生活習慣病や高齢化社会に対応した医療の提供
- ・予防医療の推進
- ・プライマリケアの実現
- ・ゆとりある空間の提供
- ・朗らかで明るい職場づくり

Niigata Rinko Hospital

<http://www.rinko-hp.com>



潟来亭(新潟市北区 福島潟) 撮影: 霜鳥 孝 院長



こちら医療情報部

医療情報部長 整形外科部長 湊 泉

これが映画やテレビの題名であれば、医療情報部は職員の仕事振りを調査したり、患者さんの秘密を調べたりする「病院のCIA、KGB、MI6」など考えるのは楽しいですが、まったく違います。医療情報とは患者さんの診断、治療に必要な病歴、血液検査、レントゲンなどの検査結果、看護記録などの記録集としてのカルテや、カルテにはない相談ごとなど、患者さんを治療する上で必要な全ての情報をいいます。情報を取る人が違ったり、使う人が違ったりすると、情報の内容、使い道に差がでて、患者さんの治療に支障が出る場合もあります。医療情報部は、情報が必要に応じてすぐに使えるようにする、情報の収集のしかた、記録の仕方を統一する(標準化する)、情報の質を高める、大事な情報が不正に使われないように管理するのが仕事です。

もう一つの大きな仕事は医療情報のIT化(コンピュータ化)です。IT化は、情報の出し入れや保管には非常に便利で、文字は読みやすくなり、カルテやレントゲンを運搬するという労力はなくなります。しかしIT化しても、医療情報をコンピュータに入れるには人間の労力が要りますし、また情報の質が上がるわけではありません。IT化するためには、情報をコンピュータに入れやすいように標準化が必要なのです。また、コンピュータばかりを見て患者さんは診えない、コンピュータを使うようになってからかえって時間がかかるようになったのでは、何のためのIT化かわかりません。そこで医療情報部はIT化をする基本概念として、患者さんへのサービス改善につなげる(具体的には待ち時間を減らす)、病院運営の効率を上げることが掲げています。

厚生労働省は、病院のIT化を強く勧めていますので、当院でもいずれコンピュータが職員より多くなる時がくると思います。しかしIT化には億単位の費用がかかりますし、現在の病院経営を考えるとおいそれと導入するわけには行きません。経営に悪影響があると医療の質を下げかねませんので、IT化の恩恵、投資のバランスを考えIT化を検討していきたいと思っています。

新入職員

New Face

よろしくお願ひします



診療部 外科 医師
高山 悟



新しく外科に加わりました。皆様と協力し、よりよい医療を提供できるよう努力したいと思ひます。よろしく御願ひ申し上げます。

診療部 外科 医師
北見 智恵



半年間の予定で世話になります。肛門疾患を中心に、とくに女性の患者様のお役に立てればと思ひます。宜しくお願ひします。

看護部 3階病棟 保健師 **依山 千賀子**

3階病棟に配属された依山です。出来るだけ早く先輩の方の様な看護を提供できる様頑張りします。

看護部 3階病棟 看護師 **鍋田 美幸**

毎日の患者様との関わりが私にとって学びです。患者様の笑顔が見られるように日々努力していきたいと思ひます。

看護部 3階病棟 ケアワーカー **瀧澤 明日香**

いつも笑顔で患者様や家族の方に接し、日常生活が快適になるようにお手伝いができるようがんばります。

看護部 4階病棟 看護師 **伊藤 まゆみ**

精一杯、頑張りします。よろしくお願ひ致します。

看護部 4階病棟 看護師 **山口 健**

早く新しい環境に慣れて、一生懸命働きたいと思うのでこれからよろしくお願ひします。

看護部 4階病棟 看護師 **酒井 麻紀子**

少しでも早く仕事が覚えられようがんばります。よろしくお願ひします。

看護部 4階病棟 看護師 **伊石 彩美**

4月から入社し、不安な面もありますが、これから多くの事を身につけ、頑張っていきたいと思つのでよろしくお願ひします。

看護部 5階病棟 保健師 **長谷川 純子**

4月から5階病棟で働くことになりました。早く仕事が覚えられるよう頑張りしますので宜しくお願ひします。

看護部 5階病棟 看護師 **五十嵐 美加**

早くこの病院に慣れるよう頑張りしますので、宜しくお願ひします。

看護部 5階病棟 看護師 **小林 可奈**

これから学ぶことが増え、学校にいたとき以上に勉強することも多くなりますが、新たなスタートをきり、頑張りしたいと思います。

看護部 5階病棟 看護師 **堀川 陽子**

患者様個人個人にあわせた、看護、ケアを提供できるよう頑張りしたいと思います。

看護部 6階病棟 保健師 **坂井 恵子**

入社したばかりなので毎日ドキドキです。早く仕事に慣れて、患者様のお役に立てるよう頑張りしたいと思います。

看護部 6階病棟 看護師 **鳥谷部 知世**

入社し、不安がいつぱいですが患者様と関われる事がとても楽しみです。自分出来る事を頑張りしていきたいと思ひます。

看護部 6階病棟 看護師 **赤岩 亜紀**

新システムで心機一転、頑張りしたいと思います。よろしくお願ひ致します。

医療技術部 リハビリテーション科 理学療法士 **堀川 昌子**

患者様の笑顔が見られるようハビリを心がけ、チームワークを大切に頑張りします。よろしくお願ひ致します。

医療技術部 MEセンター 臨床工学技士 **磯部 泰寿**

温かい心と確かな技術を提供する為に日々努力します。よろしくお願ひします。

医療技術部 MEセンター 臨床工学技士 **森谷 久美子**

患者様、スタッフの皆さんの力になれる様に頑張ります。

医療技術部 MEセンター 臨床工学技士 **小林 晴彦**

患者様と良いコミュニケーションをとりたいです。知識と技術を吸収し、頼りにされる技士になりたいです！

医療技術部 栄養科 調理師 **倉島 千奈美**

患者様に喜んでいただけるような食事を常に考え、切り方、盛りつけなどにも配慮し、美味しい食事を提供できるように頑張りたいです。

事務部 医事課 **伊藤 晃子**

晴れて社会人として働くことを実感する毎日です。病院の理念に合う職員になれるよう目の前のことに取り組んでいきたいと思ひます。

「カラダにいいこと」ってなんだろう？」

内科部長 岡田雅美

診察の前後で受診された皆さんと交わす雑談は多彩で色々ですが、場所柄、どうしてもテレビや新聞で目に入る「カラダにいいもの」関連の話題が多くなるこの頃です。

確かに最近の巷を眺めてみますと、あらゆるメディアに「健康」に関する話題が登場しない日はありません。深夜番組等での健康食品や健康器具の販売合戦も花盛りで、外来を受診された際に、「これを飲んでみたいが大丈夫?」「あの方法で本当に痩せられるの?」といったご質問を頂くことが増え、世はまさに「健康ブーム」なのだと感じます。

某人気テレビ番組が、毎回目を引く内容を流そうとした揚げ句に、いわゆる「やらせ」「捏造」を行っていたと発覚して大騒ぎになった

ことは、過剰な「健康ブーム」の行き着くべきひとつの結末だったのかも知れません。

一寸冷静に考えてみれば、例えば「この食べ物がいい」というテレビの翌日、スーパーから何かか売り切れるなんておかしな話で、ご先祖様から連綿と食べ続けられてきた食材・調理方法が本来「体にいい」のは当然であり、そうでなければいつしか消え去っていたはずです。一方で、どんな食べ物でも、そればかりを偏って食べた

り、大量に食べ過ぎたりすれば「体に悪い」のも、これまた当たり前でありましょ。運動もしかりで、適度に体を動かすことが「健康的」なのは言うまでも有りませんが、それまで全く動かしていなかった体を「いき

なり」、「度を超えて」動かせば無理が生ずるのは自明の理です。一昔前のジョギングの流行で急死した方々は少なくありませんでした。当然の事ながら、「適度」という尺度は人それぞれなのです。

特に、既になんらかの持病をお持ちの方にとっては、いわゆる「体によい」はずの食べ物や運動が「毒」になったり「害」になったりするおそれがありますから、まずは主治医に「私の場合はどうなのか」について、お尋ね頂きたいのです。

この、「私の場合」という言葉を常にキーワードとして、「体に良い」といわれる様々について、みなさん自身の場合はどうなのかを考えて頂きたいのです。疑問があるならば始める前に、まずは主治医に一言相談して頂くことが、予

想外の不具合や事故を防止することに繋がります。言い換えれば、正体不明の「カラダにいい」というお題目ではなく、「私の体にいい」かどうかを考える、という事でしょう。

人の体は千差万別。同じ病名で医療機関にかかっているにも、お薬や食事制限の内容はみなさん異なります。処方や食事内容などの指導の内容は、みなさんそれぞれにオーダーメイドであるべきだと考えています。こと健康に関しては、まずは巷の評判や流行についてそのまま受け入れるのではなく、「私の体にいい?」のかどうかを考えて、必要があれば気軽にご相談頂きたいと思うのです。

〔70歳未満の方の〕

入院時医療費の支払いについて

4月より高額療養費の申請方法が変わりました。

保険者（保険証に記載）より交付される「限度額適用認定証」を病院に提示していただくと、病院窓口での支払いが自己負担の限度額までで済むことになり、一時的な高額のお支払い、払戻しのための手続きがほとんどの場合不要になります。入院された方や入院の予定がある方は、あらかじめ保険者より「限度額適用認定証」を交付してもらってください。

なお「限度額適用認定証」の提示がない場合は、かかった医療費の3割を請求させていただくこととなります。（3月まで実施していた入院費の「高額療養費受領委任払」の制度は、本改訂により利用できなくなりました）

～詳しくは、医事課または医療相談室まで

院内ボランティア活動の開始について

5月上旬より総合受付・外来周辺で、ボランティアの活動がスタートします。

ボランティアは、目印としてエプロン・名札を着用する予定です。

診療申込書など書類の代筆、院内の誘導ご案内、軽介助などのお手伝いを致します。（内容によっては、当院職員が代わって行きます）

お困りになること、お手伝いが必要なことがありましたら、是非気軽にお声を掛けて下さい。

（ボランティアに関するお問合せ：医療相談室）

健診センターより

新潟市基本健診を受けられる方へ

当院では、月曜～土曜（第1、第3を除く）の午前中受付をしております（受付時間 8:30～11:30）。

胃がん健診の胃カメラは予約となりますが、胃X線検査は前日の21時以降食はず飲まずでおいでいただければ、当日検査が可能です。

なお、受診時には必ず市から送られてくるはがきをお持ち下さい。65歳以上の方は基本チェックリストも記入の上お持ち下さい。

年に一度は健康チェック!



当院のルールにご協力を!

面会時間

当院の面会時間は午後3時から午後8時までです。

患者様についてのお問合せ

個人情報保護法により、患者様に関する件にはお答えできません。

患者様の入院の有無についても同様です。ご家族などにご確認いただきますようお願いいたします。

臨港病院探検隊



透析センター

看護師長 広瀬 ひろみ

透析看護の役割

臨港病院21年間無事故の透析実績

昭和60年に透析医療を導入して21年間多くの患者さんを治療してきました。ベッド数10床からスタートして、15床、17床と増やし現在は30床です。透析患者数は、100名で入院が11名で他は外来患者さんです。男性65人、女性35人です。

この21年間、深刻な医療事故なく透析医療を行うことができたのは、医師をはじめスタッフのパワーだと思いません。

透析患者の高齢化、核家族化、腎機能不全以外の症状も多彩で、深刻な糖尿病の増加などにみられる最近の動向は、透析治療の継続を困難にしています。透析医療ほど全人的な医療はないと思います。心の問題、生活の問題、社会とのかかわりなど、人間を取り巻くあらゆる問題を含んでいるように思えます。患者さんを制限された生活か

らできるだけ解き放つてさしあげたいとはいえ、それが合併症の為に命を縮めてしまうという結果を招いてはなりません。どこまでが自由の限界かを正しく知る必要があります。

透析患者さんは人生の残り8%を透析室で過ごすと考えられています。一年で考えますと、まるまる一カ月間は透析室で過ごすわけです。腎不全患者の特徴を踏まえ、透析を受ける人とはどういう状態にある人なのかをよく理解し、半永久的に続く透析治療を「安全に、安楽に、安心して」受けられるよう努力することが透析看護師に望まれることです。

「安楽」とは血圧下降や身体の苦痛がなく、合併症のないことであり、「安心」とは医療者と患者との信頼関係があり、不安のないことを意味します。

このことをもとに、個々の患者に対して、透析を受けながら自己管理行動を支援し、その人なりの自己実現を支えていくのが透析看護であると考えます。



健康コラム1



健康維持のための運動 ウォーキングについて

リハビリテーション科

主任 中村 暢之

ここ数十年の間に、私たちの生活環境は大変便利になり、運動の機会は極端に減っています。高齢になればさらに運動する機会が減り、身体が衰えやすくなっています。身体の衰えにより、転びやすくなったり病気やけがなどからの回復が遅れたり、寝たきりになってしまうなど、健康で自分らしい生活を害する危険が高くなると考えられています。身体の衰えを防ぐ方法としては、やはり運動することです。今回は、最も簡易的に行える運動として、ウォーキングについて紹介します。ウォーキングとは、つまり歩くことです。歩くだけでも様々な効果があり、心肺持久力強化や脚筋力強化、肥満の予防および改善などが期待できます。ウォーキングをする上での目安や注意点をいくつか挙げます。

週3、4回、1日1回20〜30分を目安に行う。(毎日でも良い)
自分に合った速度で歩く。疲れたら途中で休憩を入れる。
胸苦、息切れ、股関節・膝関節痛などがある場合は無理して行わない。
気候が穏やかなとき、時間帯を選んで行う。夏場の日中や冬場の朝方は避ける。
履物はクッションの良い運動靴にする。
革靴のような靴底が硬いものは避ける。
姿勢はできるだけ腰を伸ばし、胸を張って歩く。
膝を伸ばすように脚を振り出し、かかとから地面に着くようにする。
杖や押し車等の歩行補助具を積極的に利用する。(歩行補助具を利用することで、痛みなく歩けたり、長く歩けるような場合)
これからウォーキングを始める方や、現在すでにウォーキングをされている方も、参考にしてみてください。あくまで目安なので、今まで運動されていない方は10分程度から始めると良いでしょう。最後に何事も過剰にならないことが肝心です。無理な運動はかえって健康を損ないます。自分の能力に合った運動で、長続きさせることが一番大切です。



当院は(財)日本医療機能評価機構の医療機能評価認定病院です

新潟臨港病院 診療案内

平成19年4月現在

診療科	時間帯	受付時間	月	火	水	木	金	第2土	第4土	第5土		
内科 ()は専門外来	午前	8:30~11:30	—	—	—	—	—	霜鳥※	—	—		
			藤田	藤田	藤田	藤田	—	星野	星野	—		
			風間	鈴木(裕)	上原	上原	鈴木(裕)	上原	大学医師	鈴木(裕)		
			岡田※	岡田※	小柳※	小柳※	小柳※	岡田※	—	岡田※		
			大学医師	中俣	大学医師	中俣	大学医師	大学医師(睡眠時無呼吸症候群(SAS)外来)	—	—		
	午後※	予約制	寺田	寺田	霜鳥※	寺田	寺田	寺田	寺田	寺田	霜鳥※	
			※霜鳥医師・岡田医師・小柳医師の診察は9:30から									
			—	—	—	風間	—	—	—	—	—	—
			小柳	小柳※	岡田	—	岡田※	—	—	—	—	—
			—	—	—	—	中俣	—	—	—	—	—
夕方※	15:30~16:30	霜鳥	寺田	—	寺田	—	—	—	—	—		
		※午後(月~金)の診療時間は13:30~16:00 火曜(小柳医師)・金曜(岡田医師)は隔週										
外科・肛門科	午前	8:30~11:30	寺田	—	中俣/霜鳥	—	岡田/小柳	—	—	—		
			※夕方(月・水・金)の診療時間は16:00~									
			※小林医師・大学医師(火・水)の診察は11:00から ※北見医師(木・金)の診察は10:30から									
整形外科	午前	8:30~11:30	小林	北見	畠山	小林	畠山	北見	畠山	北見		
			飯合10:00~	小林※	大学医師※	北見※	北見※	—	—	—	—	
眼科	午前	8:30~11:30	鈴木(順)	外山	鈴木(順)	鈴木(順)	鈴木(順)	鈴木(順)※	湊※	外山※		
			湊	湊	外山	湊	外山	※土曜日診療医師は交代				
産婦人科	午前	8:30~11:30	大学医師	—	—	大学医師	大学医師	—	—	—		
			西山	西山	西山	西山	西山	西山	西山	西山		
皮膚科	午前	8:30~11:30	—	坂本	坂本	—	坂本	—	—	—		
			—	—	—	—	—	—	—	—		
脳外科	午前	8:30~11:00	—	—	—	—	大学医師	—	—	—		
			—	—	—	—	—	—	—	—		
歯科口腔外科	午前	8:30~11:30	—	—	—	—	—	—	—	—		
			岡野	岡野	岡野	岡野	岡野	岡野	岡野	岡野		
泌尿器科	午後※	13:00~16:30	—	—	—	—	—	—	—	—		
			岡野	岡野	大学医師	岡野	*岡野	※午後(火~木)の診療時間は14:00~16:30 ※第4金曜日午後休診				
耳鼻咽喉科	午後※	13:00~16:00	—	—	—	—	—	—	—	—		
			—	—	—	—	—	—	—	—		
※午後(水・金)の診療時間は13:30~16:00												

・内科夕方外来の受付時間は15:30~16:30に変更になりました。・5月22日(火)は創立記念日のため午後休診となります。

~当院の外来休診日~ ・第1・3土曜日 ・日曜、祝祭日 ・土曜の午後 ・年末年始(12/30~1/3) ・創立記念日の午後 ・8月13日

新潟臨港病院 広報誌 みなと No.9

■発行：平成19年(2007年)4月25日
 ■編集：新潟臨港病院 広報委員会
 〒950-0051 新潟市東区桃山町1丁目114番地3
 TEL 025-274-5331(代) FAX 025-274-4560
 URL <http://www.rinko-hp.com>

ご意見・ご感想など大募集!

当広報誌では、読者の皆様からのご意見やご感想をお待ちしております。
 お気軽に広報委員会までお寄せ下さい。

「みなと」第9号をお届けします。「みなと」も創刊3年目となりました。そこで、お気づきかもしれませんが、誌面を小規模ですがリニューアルいたしました。少しでも皆様のお役に立つ広報誌を目指し、新たに「リハビリ」「食」に関する「健康コラム」を設け、今後それぞれ年2回掲載いたします。次号は「食」に関してお届けする予定です。また、表紙ロゴを明るくやさしい感じのものに変更してみました。当院医師の「ドクターズメモ」部署訪問「臨港病院探検隊」は引き続き掲載してまいります。次号は7月25日発行予定です。(S)

編集後記